

第 6 回 九州圏広域地方計画有識者会議(令和 6 年 6 月 21 日開催) 議事概要

■議事 (1)九州圏広域地方計画有識者会議規約改正について

- 規約について、構成員の変更に関する記載がないため、変更手続きを明確にするために変更している。「これらの構成に変更がある場合は、九州圏広域地方計画協議会幹事会にて承認を得るものとする。ただし、軽微な変更については、有識者会議にて報告とする。」と変更した。今回、委員の所属に変更があったことから規約の改正とあわせて報告する。【事務局】

■議事 (2)中間とりまとめ(案)について

- 副題について、各地域で副題を設定していると思うが、他地域の副題等との被りはないのか。例えば「シン北海道」等、被りはないか、確認済みか。

⇒確認する【事務局】

- 副題の「世界が憧れる」という表現は、人やモノが突出している存在を指す表現だと思う。言い過ぎではないか。「世界が注目する」程度が適切ではないか。例えば、挙げられている「シン」の内容をみても、突出してどこよりもという印象を受けない。よって、副題は検討していただければと思う。

- 副題に「シン」を付けたが、以降の文章には「シン」という言葉が出てきていないため、もったいないと思う。検討して頂きたい。

- 今回の国土形成計画では国民とともに危機感を共有することがとても重要であると感じている。九州圏広域地方計画中間とりまとめ案には危機感を訴える内容が少ないように思える。全国で認識する危機感よりも九州で認識する危機感の方が強いと思う。九州の皆様が、共通の認識を持って前に進んでいく上で、危機感を示す表現を第 1 部か 2 部に記載頂くことが良いと考える。後半になるほど、前向きな話題になるため、後半の話題も危機感ベースで位置づけていくことが必要かと思う。

⇒例えば九州で災害が多いことや人口減少、転出者が多いことなどが危機感の対象になるのか。【事務局】

⇒人口減少や高齢化、災害等が対象になる。そのような問題に伴い、山林の維持管理の問題や、農地の問題につながると考えている。

⇒今後期待される事項として、福岡の人口のダム効果を記載しているが、今後もあてにして良いのだろうか。これまでの傾向から人口のダム効果が期待されているが、近年のデータからは今後も効果を期待できるとは言えなくなっている。危機感の内容と合わせて、計画内容を検討する必要があると思う。

- 資料 2 P19 の記載内容について、集積が進められてきたことや、取組が図られていること等、現状が記載されているが、それ以外の文章では、さらにその取り組みを推進する、というような書きぶりになっているので、現状ではなく、現状からの方向性を記載してほしい。

- 資料 2 P27 について、「デジタルの力を活用した遠隔医療等で、離島や僻地の医療を推進していく」と記載されているが、前提として医師や看護師の確保が必要になるため、その旨を記載し

てほしい。例えば「医師や看護師等の医療人材の確保を進める」という表現を追記してほしい。

⇒承知した。【事務局】

- 資料 2 P30 の農福連携の記載について、具体的に農福連携という言葉が中間とりまとめには記載されていないが、おそらく中間とりまとめ案「2. 地域を支える人材の活躍と民の力を最大限活かした地域づくり（4）幸せコミュニティ」の内容に含まれると考えている。農福連携の具体的な内容は、個別事業で記載されるという認識で良いか。

⇒可能な限り個別事業にて農福連携について言及していきたい。【事務局】

- 環境についてひとつにまとめられているが、分野横断的な記載が必要ではないかと思う。例えば観光に関して言うと、諸外国では、観光地の人数制限を行っている。観光の受け入れ環境の整備など、拡大ばかりの話ではなく、観光の環境容量の面から、観光を制御するということもありえる。環境に優しい観光の在り方、環境にやさしい工業の在り方、環境にやさしい農業の在り方のような、分野横断的考え方について、必要である。

- 過疎について記載されているが、小さな拠点以降のラストワンマイルの問題についても触れてほしい。

- 自主防災組織の形成について、自主防災組織には消防団・水防団等があり、現在大変な状況になっている。現在既存の制度で位置付けられる自主防災組織も危機に瀕しているため、記載内容を補強してほしい。

- 「持続的な観光地域づくり」の書き方について、現状では観光プローションに終始しており、委員が意図している、先進的な取組によって海外から評価されるような観光に言及しているものではない。国際認証等、もう一歩踏み込んだ持続可能な観光等への在り方・取り組みを記載すべきである。

- 九州で多い災害対応について、備蓄や BCP を含め、九州ならではのことを記載した方が良いと考える。

- 「こどもまんなかまちづくり」を「女性活躍」の中に位置づけているが、もう少し重みづけすると同時に、記載箇所を再検討してほしい「育てて良し」という内容は、大人の視点であるため、こども中心の視点というものが「こどもまんなかまちづくり」で問われていると思う。「九州の中で自分たちの進路の選択ができる」こと等が、こどもの視点から出てくると思う。未来のこどもたちが選んでくれることが重要であり、学校教育等、こどもの視点に関する記載があれば良いが、言葉も含めて「こどもまんなか」を重要視してほしいと思う。

- 幸せコミュニティ・多様な人々の活躍・地域での女性活躍について、重複するような記載となっている。まとめ方を工夫してほしい。

⇒重複しているように思えるが、まとめ方が難しい箇所である。切り分けが難しく、1 つの視点としてみていく中で、女性活躍の内容を特出した形としている。読みやすいよう、記載内容は工夫・検討する。【事務局】

- 幸せコミュニティの箇所について、連続的なバリアフリー空間の形成とあるが、バリアフリーは障がい者に対してのバリアを取り去って行くイメージがある。ユニバーサルデザインの方が多様な方向けだと思う。こどもや女性、子育て世代等の方々にも当てはまると思う。バリアフリーという

言葉を使用した意図があれば教えてほしい。

⇒前段の文章に記載しているハード的なものを意識してバリアフリーと記載していた。バリアフリーが良いかユニバーサルデザインが良いか検討する【事務局】

○女性活躍について、女性にとって魅力ある仕事が無い、という課題があると思う。特に若い女性に選んでもらえる仕事づくりという話が出たが、もう少し具体性をもった記載内容にすべきではないか。だが、女性も多様なので、あまり限定することも得策ではない。大学卒業後の女性の活躍の場等、見通しがつくような書きぶりになればと思う。

⇒女性が働く産業の視点だが、女性向けに、どの業務・仕事かという書きぶりは、女性活躍の幅を限定するような記載となる可能性があり、記載が難しいと考える。【事務局】

○「職場に限らず女性活躍の場を確保」の記載意図を確認したい。

⇒「職場に限らず女性活躍の場を確保」については職場・雇用に限らず女性が活躍出来る場を確保する必要があることから記載している。【事務局】

○女性が地域活動の面で参加しにくいというところもある。地域維持のために、コミュニティの中で女性が下位に置かれているという状況を改善した方が良い、という意見を聞いたことがあり、書きぶりとして、地域活動の部分に反映すると良い。

⇒「職場に限らず」というところがどこなのか、わかりにくいという話かと思うので、地域活動の場等、記載内容を工夫する。【事務局】

○中間とりまとめ P18 について、農業の IT 化・スマート農業など、確かに担い手不足対応の大きな方向性の一つであるが、環境という視点では、国の政策の一つである有機農業や小さな農業に着眼した内容も記載してほしい。水環境の保全について、以前指摘があったと思うが、漁業等と密接に関わりがあるため、産業間の連携において水のマネジメントを考えるという視点もどこかにあるとよい。

○地域おこし協力隊について言及しているが、他にも組織や仕組みがあるし、地域おこし協力隊の他にも色々な活躍している人はいる。地域おこし協力隊の制度についても、都市部から地方部にやってくるだけでなく、その地域の出身の方が協力隊となる方が効果的という意見を地元の方から頂いたこともあるため、制度の面も含めた記載を考えてほしい。

○地域の人口減少が進んで人材を確保しなければいけないと記載があるが、関係人口の拡大や三大都市圏の企業から地方公共団体へ派遣するなどの前に、若者の地元企業への就職・定着への取り組みを進める必要があると感じた。優良企業が地元にあるものの、若者への周知が不十分で他地域に就職してしまうことがある。行政・民間企業・教育機関・大学等も含め、地元企業の魅力を若者に伝えていくことが重要であると考えている。

○近年のエネルギー関連で、生成 AI にかかる需要拡大や電力需要の増加等のことが盛り込まれると、安定供給できる九州のポテンシャルから、データセンターの設置等に繋がると考えているので、取り入れて頂けないか。

○「パンデミック防疫体制の連携強化」について、「パンデミック」という言葉は、人の感染症のイメージがある。そのため、誤解を招く恐れがあると思い、「パンデミックに対する」は不要だと思う。

○目次についてバランスを取り、本当に大事なことをタイトルにするように調整をしてはどうかと

思う。

○電力の需要が拡大している一つの大きな要素として生成 AI が使われていく中で、データセンターが出てくる。今までとは桁が違うぐらい電力が必要ということなので、現状認識をしっかりと行い、電力需要拡大への対応をしっかりと行っていくと示したほうが良い。具体的にどう施策を入れ込むか、議論はあるが、重要な問題だろうと思う。生成 AI という言葉も入れた方が良いと思う。

○地域で最も問題なのは少子化だと思う。人の移動でなくなるのはもちろんであるが、それは次の話である。まず少子化対策をしっかりとやるということ、一番初めに入れた上で、その次に、関係人口とか、地域を支える人材がくると思う。少子化対策をしっかりと入れ、そこで先ほどの「こどもまんなかまちづくり」等がきて、子育てしやすい環境をしっかりと作っていくというのがあって、次が続く方が良いと思う。